機械設備工事　特記仕様書

1. 工事名称　玉城町役場庁舎耐震補強及び改修工事
2. 工事場所　三重県度会郡玉城町田丸114-1
3. 建築概要　既設庁舎　RC造3階建て　建築面積 988.120㎡　延べ床面積 2,441.540㎡
4. 施工基準　図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、以下による。
   - ■ 三重県公共工事共通仕様書(最新版)
   - ■ 国土交通省大臣官房官庁営繕部監修(最新版)

   「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)最新版」
   「公共建築工事標準図(機械設備工事編)最新版」
   「機械設備工事監理指針最新版」
5. 一般事項　工事の詳細については、本設計図面、仕様書による他、上記各施工基準に準拠し、監督員指示の下に入念且つ誠実に施工すること。
   設計図書に定められた内容、現場の納まり・取り合い等の不明な点や施工上の困難・不都合、図面上の誤記及び記載漏れ等に起因する問題点及び質疑、設計図書とおりに施行することで将来不具合が発生しうると判断される場合については、その都度、監督員と協議すること。
   なお設計図書とおりの施行であっても使用上の不具合が発生した場合は協議の上、改善策を講じること。
   他工事との取合いについては予め当該工事関係者間において協議し、円滑な工事進捗に努めること。
   なお調整不足による意匠的な仕上がり不備や不具合が発生した場合は監督員の指示により手直し施行を行うこと。

(1) 提出図書
- ■ 工事書類　各1部ずつ　:　・施工計画書　・打合わせ記録　・材料搬入報告書　・施工要領書　・工程表　・安全・訓練実施記録　・機器明細図　・工事日報　・品質確認書類　・工事写真
- ■ 工事完成図書:　・完成図(竣工図[製本2部]・施工図[製本2部])　・機器完成図(ﾌｧｲﾙ等1部)　・保守に関する説明書(取扱説明書・保証書)　1部　・機器性能試験成績書　1部　・総合調整測定表(試験結果・測定結果等)　1部　・官公署届出書類控、検査済証　1部

(2) 機器及び材料等
工事に使用する機器及び材料等については、予め使用機材届出書(ﾒｰｶｰﾘｽﾄ)、機器明細図、現品、ｶﾀﾛｸﾞ、その他諸資料を事前に届け出ること。
尚、図面に記載の品番は、参考品番として便宜上ﾒｰｶｰ品番を使用しているので、ﾒｰｶｰの選定ﾒあたっては、同等品以上の性能を有するものとする。また、国等による環境物品等の調達推進に関する法律(ｸﾞﾘｰﾝ購入法)を考慮し、再生品などの環境に優しい(環境物品)の調達に努める。
又、重量機器については、機器据付要領・耐震計算書もあわせて提出すること。

(3) 官公署等への届出手続
工事に伴う関係官公署等への必要な諸手続きは、請負者が遅滞なく行い、これに要する費用も負担する。

(4) 品質管理
工事施工に関して、着手前・施工途中・施工後の自主検査を実施すること。
ﾁｪｯｸﾘｽﾄ等を作成し、管理を行うこと。

6. 工事種目
機械設備工事
1. 空調設備工事
(1) 機器設備工事
(2) 配管設備工事
(3) ﾀﾞｸﾄ設備工事
(4) 換気設備工事
2. 排水設備工事
3. 撤去工事

7. 工事概要
機械設備工事
1. 空調設備工事
(1) 機器設備工事
本工事は空冷ﾋｰﾄﾎﾟﾝﾌﾟ式空調機の一時取り外し、再取付工事を行う。
機器再取付後の試運転調整を含めて機器設備工事とする。
(2) 配管設備工事
建築耐震補強工事に伴う冷媒管、ﾄﾞﾚﾝ管、冷温水管の撤去及び復旧工事(新設配管)を行う。
耐震工事の冷温水配管の仮設迂回工事も本工事とする。
(3) ﾀﾞｸﾄ設備工事
建築耐震補強工事に伴う既設吹出口類の取り外し、再取付工事を行う。
間仕切り壁変更に伴うﾀﾞｸﾄ、吹出口の新設工事を行う。
(4) 換気設備工事
建築耐震補強工事に伴う既設排気口の取り外し及びﾀﾞｸﾄの撤去、復旧工事を行う。
設置に伴う軒天下地開口補強工事(開口切り込み共)は設備本工事とする。
1階ﾎｰﾙ、事務所の空調温度ﾑﾗを改善するため、ｴｱｰ搬送ﾌｧﾝの新設工事を行う。
2. 排水設備工事
建築耐震工事に伴う既設雨水配管、桝の撤去及び復旧工事を行う。
3. 撤去工事
地階、屋上に設置の不要機器及び配管等の撤去工事を行う。

8. 工事細目
(1) 配管材料

■ 給水管	■ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管　JWWA K 116 (一般:SGP-VA,VB　地中:SGP-VD) □ 水道用硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管　JIS K 6742 (一般・地中:HIVP)	
□ 屋外埋設排水	□ 土間:硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管　JIS K 6741(VP)	
■ ﾄﾞﾚﾝ管	□ 配管用炭素鋼鋼管(白)　JIS G 3452(SGP-白) ■ 硬質塩化ﾋﾞﾆﾙ管　JIS K 6741(VP)	
■ 冷媒管	□ 銅及び銅合金継目無管　硬質、軟質または半硬質　JIS H 3300 ■ 断熱材被覆銅管 原管はJIS H 3300による。製造者標準品 ただし、保温厚はｶﾞｽ管20mm、液管10mmとする。 ※ 冷媒用銅管の肉厚は、冷凍保安規則関係基準の規定による。	
■ 冷温水配管	■ 配管用炭素鋼鋼管(白)　JIS G 3452(SGP-白) □ 耐熱塩ビライニング鋼管　JWWA K 140　(一般：SGP-HVA)	
■ 冷却水管	■ 配管用炭素鋼鋼管(白)　JIS G 3452(SGP-白)	

※ 横走り管の吊り間隔

鋼管	100A以下　-　2m以下 125A以上　-　3m以下
ﾋﾞﾆﾙ管 耐火二層管 銅管	80A以下　-　1m以下 100A以上　-　2m以下
鉛管	1.5m以下
鋳鉄管	直管及び異形管各1本につき1ヶ所

※ 横走り管形鋼振れ止め支持間隔

支持間隔	6m以下	8m以下	12m以下
鋼管 鋳鉄管	-	65A～100A	125A～
ﾋﾞﾆﾙ管 耐火二層管 銅管	25A～40A	50A～100A	125A～

(2) ﾀﾞｸﾄ工事
矩形ﾀﾞｸﾄ　■ 亜鉛鉄板　JIS G 3302(SGCC,SGCCA)鍍金付着Z18以上
形鋼補強　■ 山形鋼　JIS G 3101
丸ﾀﾞｸﾄ　■ ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ

(3) 保温塗装工事
1) 材料

□ ｸﾞﾗｽｳｰﾙ保温材 (屋内一般等)		保温筒　JIS A 9504 2号 40K 保温板、保温帯　JIS A 9504 2号 40K	
□ 給水管	□ 汚水管	□ 冷温水管	
□ 雑排水管	□ 鉛管	□ ﾄﾞﾚﾝ管	
□ 通気管	□ 給湯管	□ 蒸気管	

□ ﾛｯｸｳｰﾙ保温材 (防火区画貫通部等)		保温板、保温帯、ﾌﾞﾗﾝｹｯﾄ JIS A 9504 1号	
□ 給水管	□ 汚水管	□ 冷温水管	
□ 雑排水管	□ 鉛管	□ ﾄﾞﾚﾝ管	
□ 通気管	□ 給湯管	□ 蒸気管	

■ ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材 (屋外等)		保温筒　JIS A 9511 3号 保温板　JIS A 9511 3号	
■ 給水管	□ 汚水管	□ 冷温水管	
□ 雑排水管	□ 鉛管	□ ﾄﾞﾚﾝ管	
□ 通気管	□ 給湯管	□ 蒸気管	

2) 配管保温厚
・ｸﾞﾗｽｳｰﾙ

保温厚(mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ﾄﾞﾚﾝ 給湯・温水・消火管	～80A	100A～150A	-	200A	250A～
蒸気管	-	～25A	32A～50A	65A～150A	200A～
冷水・冷温水 冷媒・膨張管	-	-	～25A	32A～200A	250A～

・ﾛｯｸｳｰﾙ

保温厚(mm)	20	25	30	40	50
給水・排水・ﾄﾞﾚﾝ 給湯・温水・消火管	～80A	100A～150A	-	200A	-
蒸気管	-	～25A	32A～50A	65A～150A	200A～
冷水・冷温水 冷媒・膨張管	-	-	～25A	32A～200A	250A～

・ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ(屋外露出または多湿箇所)

保温厚(mm)	20	30
給水・消火・排水管	～150A	200A～

・機器ﾀﾞｸﾄ保温厚

保温厚(mm)	
25mm	ﾀﾞｸﾄ(隠蔽部)、消音ﾁｬﾝﾊﾞｰ・ｴﾙﾎﾞ 膨張ﾀﾝｸ、鋼板製ﾀﾝｸ、排煙ﾀﾞｸﾄ隠蔽部(ﾛｯｸｳｰﾙ)
50mm	ﾀﾞｸﾄ(隠蔽部)、ｻﾌﾞﾗｲﾁｬﾝﾊﾞｰ・貯湯ﾀﾝｸ類 冷温水ﾍｯﾀﾞｰ、排気筒隠蔽部(ﾛｯｸｳｰﾙ)
75mm	煙導(ﾛｯｸｳｰﾙ)

給水・排水・ﾄﾞﾚﾝ・給湯・温水・蒸気管保温仕様

保温厚(mm)	1	2	3	4
屋内露出	保温筒	鉄線	原紙	綿布塗装仕上
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	原紙	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ仕上
天井内・PS内	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽ化粧保温筒	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ		
床下・暗渠ﾋﾟｯﾄ内	保温筒	鉄線	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ
屋外露出	保温筒	鉄線	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	SUS鋼板仕上

※ 1) 冷媒管に断熱被覆銅管を使用した場合の保温種別は、保温化粧ｹｰｽ仕上げ又は樹脂製化粧ﾊﾞｰ(屋外露出部)とする。

冷水・冷温水・冷媒・膨張管保温仕様

保温厚(mm)	1	2	3	4	5
屋内露出	保温筒	鉄線	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	原紙	綿布塗装仕上
機械室・書庫・倉庫	保温筒	鉄線	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	原紙	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ仕上
天井内・PS内	保温筒	鉄線	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ仕上	
床下・暗渠ﾋﾟｯﾄ内	保温筒	鉄線	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	着色ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ	
屋外露出	保温筒	鉄線	ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ	SUS鋼板仕上	

※ 1) 冷媒管に断熱材被覆銅管を使用した場合の保温種別。
□ 保温化粧仕上げ　■ SUS鋼板仕上(屋外露出部分)

機器保温仕様

	1	2	3	4	5
冷水・冷温水ﾀﾝｸ 鋼板製ﾀﾝｸ 冷水・冷温水ﾍｯﾀﾞ	鋲	保温板	ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ	鉄線	SUS鋼板仕上 ｶﾗｰ鉄板(屋内)
温水・膨張・還水 貯湯ﾀﾝｸ 温水・蒸気ﾍｯﾀﾞ 熱交換器	鋲	保温板	鉄線	SUS鋼板仕上 ｶﾗｰ鉄板(屋内)	

※ 1) 密閉式膨張ﾀﾝｸ及び､ﾌﾟﾚｰﾄ形熱交換器は保温施工不要。

ﾀﾞｸﾄ・ﾁｬﾝﾊﾞｰ・煙導保温仕様

			1	2	3	4
長方形ﾀﾞｸﾄ	屋内露出	一般・廊下	鋲	保温板	ｶﾗｰ鉄板	
		機械室	鋲	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温板	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ	
	屋内隠蔽､DS内		鋲	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温板	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ	
	屋外露出､多湿箇所		鋲	保温板	ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ	SUS鋼板
ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ	屋内露出	一般・廊下	保温帯	鉄線	ｶﾗｰ鉄板(屋内)	
		機械室	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温板		ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ	
	屋内隠蔽､多湿箇所		ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温板		ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ	
	屋外露出､多湿箇所		保温帯	鉄線	ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ	SUS鋼板
ｻﾌﾞﾗｲﾁｬﾝﾊﾞｰ			鋲	保温板	ｶﾞﾗｽｸﾛｽ	銅亀甲金網
消音ﾁｬﾝﾊﾞｰ・ｴﾙﾎﾞ			鋲	保温板	ｶﾞﾗｽｸﾛｽ	
排煙ﾀﾞｸﾄ 長方形		屋内隠蔽	鋲	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温板	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ	
排煙ﾀﾞｸﾄ 円形		屋内隠蔽	ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ化粧保温板		ｱﾙﾐｶﾞﾗｽｸﾛｽ粘着ﾃｰﾌﾟ	
煙導			ﾌﾞﾗﾝｹｯﾄ	鉄線	ｶﾗｰ鉄板	

※ 1) 排煙ﾀﾞｸﾄはﾛｯｸｳｰﾙ保温板、保温帯､1号を使用。
※ 2) 煙導ﾌﾞﾗﾝｹｯﾄはJIS G 3554(亀甲金網)による亜鉛鍍金を施した網目16線径0.55のよる防錆処理を施した平ﾗｽ0号で外面補強したものを使用。
※ 3) 銅亀甲金網は JIS H 3260 網目10､線径0.5とする。
※ 4) 全熱交換器のﾀﾞｸﾄ保温は屋外から機器までとする。

(4) ｽﾘｰﾌﾞ工事
1. 管ｽﾘｰﾌﾞの径は、原則として、管の外径(保温されるものは、保温厚さを含む)より40mm程度大(=ｻｲｽﾞUP)なるものとする。
箱抜きｽﾘｰﾌﾞは、木枠又は鋼板(実管ﾀﾞｸﾄ)とする。
2. 地中梁のｽﾘｰﾌﾞは、塩化ﾋﾞﾆﾙ管(VU)とし、水密を要する部分のｽﾘｰﾌﾞは、つば付き鋼管とする。
3. 請負代金額が1億を超える大規模工事については、地中梁以外の梁抜き管ｽﾘｰﾌﾞは、亜鉛鉄板製とする。
4. その他のｽﾘｰﾌﾞは、特記なき限り、紙ﾎﾞｲﾄﾞとする。
紙ﾎﾞｲﾄﾞ使用の際は、配管前に必ず撤去のこと。

9. 共通事項
1) 陸上ﾎﾟﾝﾌﾟ、送排風機(ｴｱﾊﾝ含む)の電動機は、全て全閉防まつ形とし､4極を原則とする(加圧給水ﾎﾟﾝﾌﾟﾕﾆｯﾄを除く)。
2) 配管途中、要所にはﾌﾗﾝｼﾞ接続箇所を設置し、取り外しを容易にする。
3) 系統が分かるように、必要個所(機械室､PS内等)に文字書き・矢印記入・ﾊﾞﾙﾌﾞ札取付を行う。
4) 機器・配管・支持金物において、異種金属が接触する部分には、絶縁処理を行う。
5) 配管に空気が滞留する恐れのある箇所には､ｴｱ抜き弁を設置し、最寄りのﾄﾞﾚﾝ管に接続する。
6) 屋外機器設置基礎のｱﾝｶｰﾎﾞﾙﾄは、構造体鉄筋より取出し、もしくはあと施工ｱﾝｶｰ工法の類とする。使用ｱﾝｶｰについては、機器仕様書、耐震ｸﾗｽ等を確認すること。
また、重量機器にあと施工ｱﾝｶｰ工法を採用する場合､ｹﾐｶﾙｱﾝｶｰを使用し施工すること。
7) 機器、配管の耐震措置及び機器、ﾀﾞｸﾄの防震・消音については、標準仕様書、標準図、施工管理指針及び建築設備耐震設計・施工指針に基づき十分考慮する。
8) 雨がかり部にｶﾞﾗﾘのﾁｬﾝﾊﾞｰには、水抜きを設ける。
9) 屋外埋設管(給水、消火、ｶﾞｽ)には、埋設ｼｰﾄを敷設し、曲がり・分岐部には、地中埋設標を施工する。
10) 冷水及び冷温水管の支持材には、合成樹脂製支持受けを使用する。
11) 水栓は、節水機構付きのものを使用する。
12) 冷媒管等防火区画貫通部は、建築基準法・消防法に適合する工法にて防火処理を行う。
13) 地中埋設配管については、下記の沈下対策を講ずるものとする。
(ｲ) 管は継ぎ手の組合わせにより可とう性をもたせる。
(ﾛ) 接続箇所は必要に応じｺﾝｸﾘｰﾄで保護する。
(ﾊ) 土間配管は、土間筋に吊り下げるなど埋設配管を保持するように努めること。
呼び径100A以下はM10､125A~250AはM12､250A以上はM16のｽﾃﾝﾚｽ棒鋼を使用する。
14) 屋外露出及び多湿箇所(ﾄﾚﾝﾁﾋﾞｯﾄ等)の配管架台は、SUSまたはSS溶融亜鉛ﾒｯｷ仕上げとする。

10. 指定資材及び参考見積もりﾒｰｶｰ

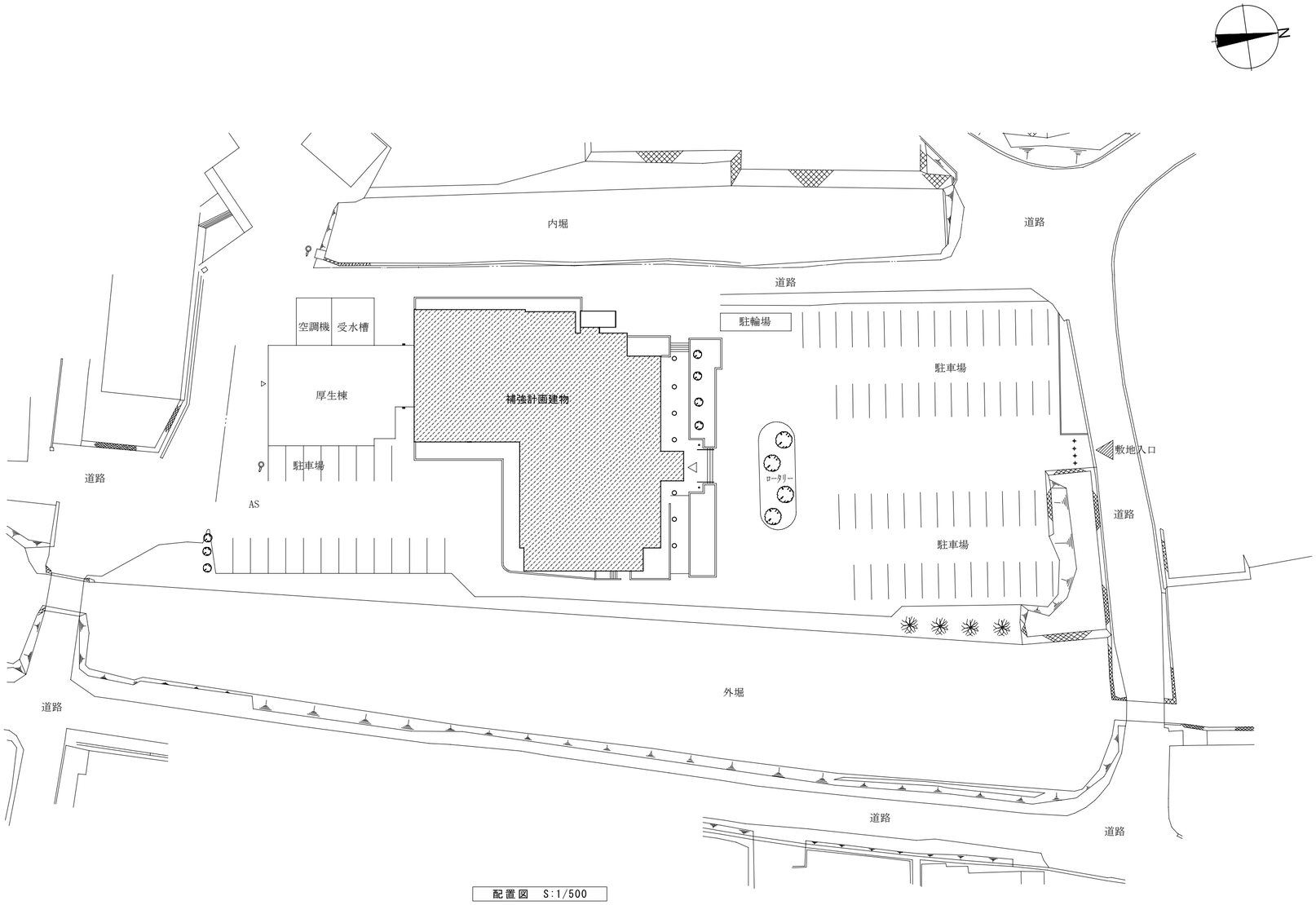
分類	資材名		規格・ﾒｰｶｰ等(ｱｲｳｴｵ順)
管	塩ﾋﾞﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管		「水」ﾏｰｸ表示品　WSP規格品
	配管用炭素鋼鋼管		JISﾏｰｸ表示品
	塩化ﾋﾞﾆﾙ管		JISﾏｰｸ表示品　「水」ﾏｰｸ表示品
	ﾘｻｲｸﾙ塩化ﾋﾞﾆﾙ管		塩化ﾋﾞﾆﾙ管・継手協会規格品
	鉛管		SHASE-S表示品
	銅管	冷媒用	㈱ｲﾉｱｯｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ ㈱神戸製鋼所 住友軽金属工業㈱ 三菱ﾏﾃﾘｱﾙ㈱ または同等品以上
	排水用鋳鉄管		JISﾏｰｸ表示品
	ﾀﾞｸﾀｲﾙ鋳鉄管	水道用	「水」ﾏｰｸ表示品　WSP規格品
	ｽﾃﾝﾚｽ鋼管		JISﾏｰｸ表示品　「水」ﾏｰｸ表示品
	耐火二層管		国土交通大臣認定品
継手	ﾗｲﾆﾝｸﾞ鋼管継手	管端防食ﾌﾗﾝｼﾞ	JPF規格品 WSP規格品
	鋼管継手	外面含む	JISﾏｰｸ表示品
	ﾋﾞﾆﾙ管継手		JISﾏｰｸ表示品　「水」ﾏｰｸ表示品
	銅管継手		㈱ｲﾉｱｯｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ 東洋ﾌｨｯﾃｨﾝｸﾞ㈱ または同等品以上
	ｽﾃﾝﾚｽ鋼管継手		JISﾏｰｸ表示品　SAS規格品
	耐火二層管継手		国土交通大臣認定品
	伸縮管継手(ﾍﾞﾛｰｽﾞ形､ｽﾘｰﾌﾞ形)		設備機材等評価名簿による
	可とう継手		ﾄｰﾌﾚ㈱ 東洋ﾊﾞﾙﾌﾞ㈱ 日立金属㈱ ㈱ﾍﾞﾝ ㈱大和ﾊﾞﾙﾌﾞ ㈱ﾖｼﾀｹ または同等品以上
弁	青銅弁・鋳鉄弁		JISﾏｰｸ表示品
	減圧弁・温度調整弁		設備機材等評価名簿による
	その他弁類		㈱ｷｯｷ 東洋ﾊﾞﾙﾌﾞ㈱ 日立金属㈱ ㈱ﾍﾞﾝ ㈱大和ﾊﾞﾙﾌﾞ ㈱ﾖｼﾀｹ または同等品以上
保温材	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ保温材 ﾛｯｸｳｰﾙ保温材 ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材		JISﾏｰｸ表示品
桝	桝類	公団桝	協和ｺﾝｸﾘｰﾄ工業㈱ 桑名工業㈱ 昭和鉱業㈱ ㈱ｵｽﾞｶ ㈲丸八産業 または同等品以上
		塩ﾋﾞ桝	日本下水道協会、排水設備用樹脂製ﾏｽ協会 規格対象品又は準拠品
鋳鉄製品	排水金具		㈱ｵｵﾀｹﾌｧﾝﾄﾞﾘｰ ｶﾈｿｳ㈱ ﾀﾞｲﾄﾞﾚ㈱ ㈱中部ｺｰﾎﾟﾚｰｼｮﾝ 南濃鋳工㈱ 福西鋳物㈱ ㈱ｼｸｷｬｽﾄ または同等品以上
	鋳鉄製蓋	ﾏﾝﾎｰﾙ蓋 弁桝蓋	設備機材等評価名簿による
送風機	遠心送風機(多翼形送風機) 斜流送風機 軸流送風機 消音ﾎﾞｯｸｽ付送風機		設備機材等評価名簿による
換気扇	換気扇類		栗田工業㈱ ㈱東芝 ㈱日立ｱﾌﾟﾗｲｱﾝｽ ﾊﾟﾅｿﾆｯｸ㈱ 三菱電機㈱ または同等品以上
ﾀﾞｸﾄ付属品	吹出口・吸込口 風量ｺﾆｯﾄ(定風量、変風量)		設備機材等評価名簿による
ﾀﾞｸﾄ	亜鉛鉄板 ｽﾃﾝﾚｽ鋼板		JIS規格品 JIS規格品
	ｽﾊﾟｲﾗﾙﾀﾞｸﾄ		大阪ﾌｾﾝ管工業㈱ ㈱栗本鐵工所 泰弘 富士空調工業㈱ ﾌｼﾞﾓﾘ産業㈱または同等品以上
	ﾌﾚｷｼﾀﾞｸﾄ		ｱﾗｲ実業㈱ ㈱ｵｰﾂｶ ㈱栗本鐵工所 または同等品以上

[注記] ① JISﾏｰｸ、水ﾏｰｸ(JWWA:日本水道協会規格)、WSP(日本水道鋼管協会規格)、SHASE-S(空気調和・衛生工学会規格)、JPF(鉄管継手協会規格)、SAS(ｽﾃﾝﾚｽ協会規格)の番号については、「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)」「公共建築改修工事標準仕様書(機械設備工事編)」による。
② JISﾏｰｸ表示品と指定された資材は、工業標準化法施行規則に基づき、製品・包装の外面、容器の外面、結束荷札ごとの納品書にJISﾏｰｸ表示のあるものとする。
③ 評価事業名簿とは、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」設備機材等評価名簿(最新版)をいう。
但し、評価事業名簿による場合、「納入地区及びｱﾌﾀｰｻｰﾋﾞｽ地区」に中部地区または近畿地区が含まれていて、評価の有効期間内にある場合に有効とする。

備考		名称	玉城町役場庁舎耐震補強及び改修工事	図面番号
		図名	機械設備工事　特記仕様書	No. M-01

附近見取図

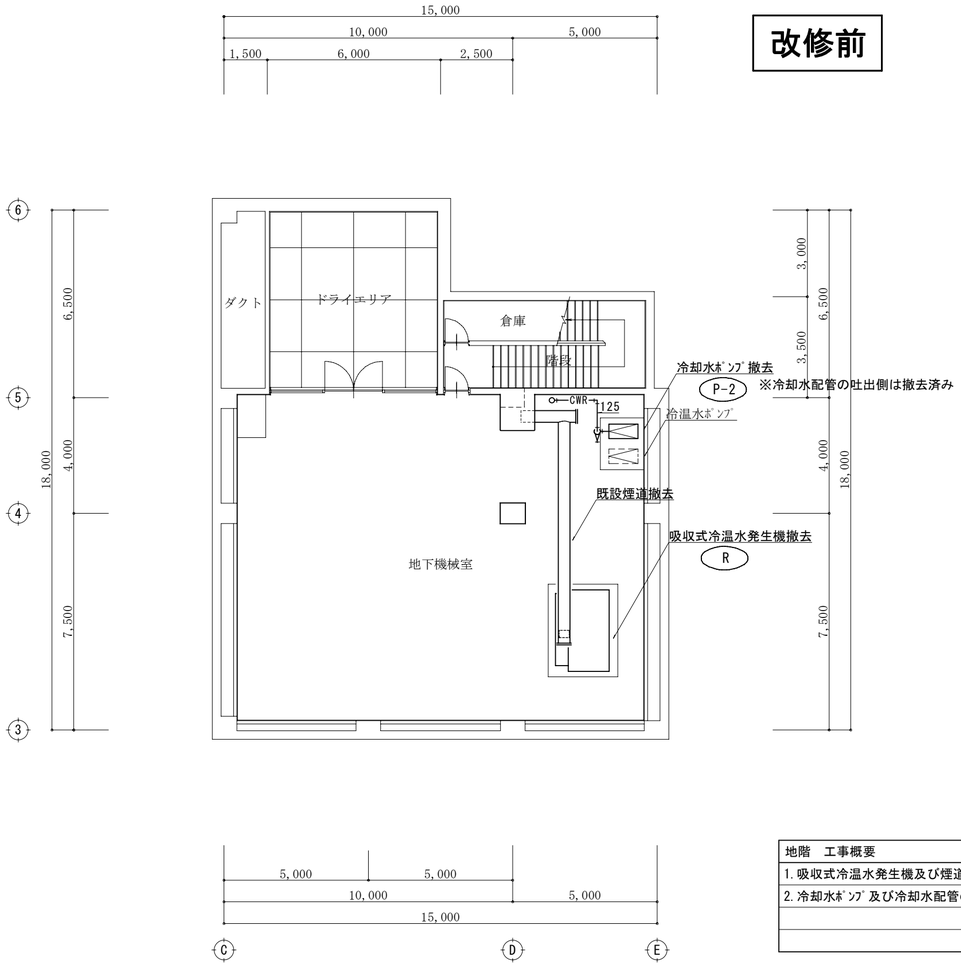
床　面　積（㎡）	
地下床面積	186.520
1階床面積	911.930
2階床面積	586.550
3階床面積	729.170
PH床面積	27.370
延べ面積	2,441540
建築面積	988.120



配置図　S:1/500

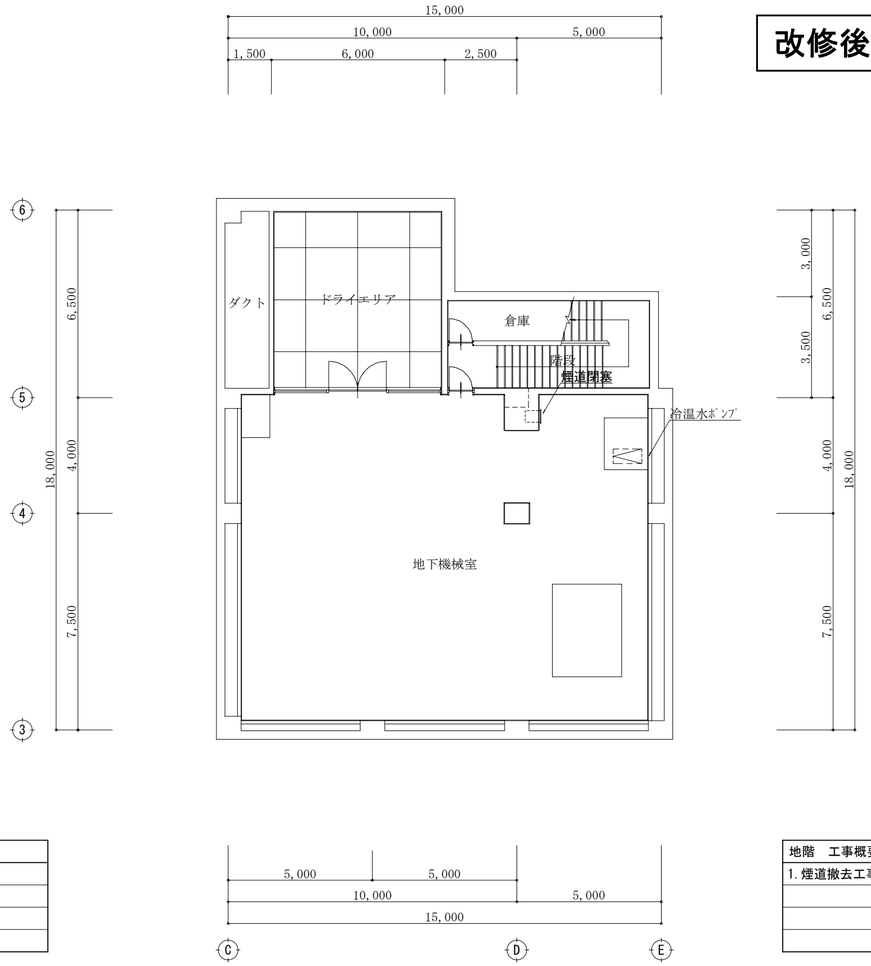
備考		名称	玉城町役場庁舎耐震補強及び改修工事		図面番号
		図名	機械設備工事　附近見取・配置図	1:500	No. M-02

改修前



地階　工事概要
1.吸収式冷温水発生機及び煙道の撤去工事を行う。
2.冷却水ﾎﾟﾝﾌﾟ及び冷却水配管の撤去工事を行う。

改修後



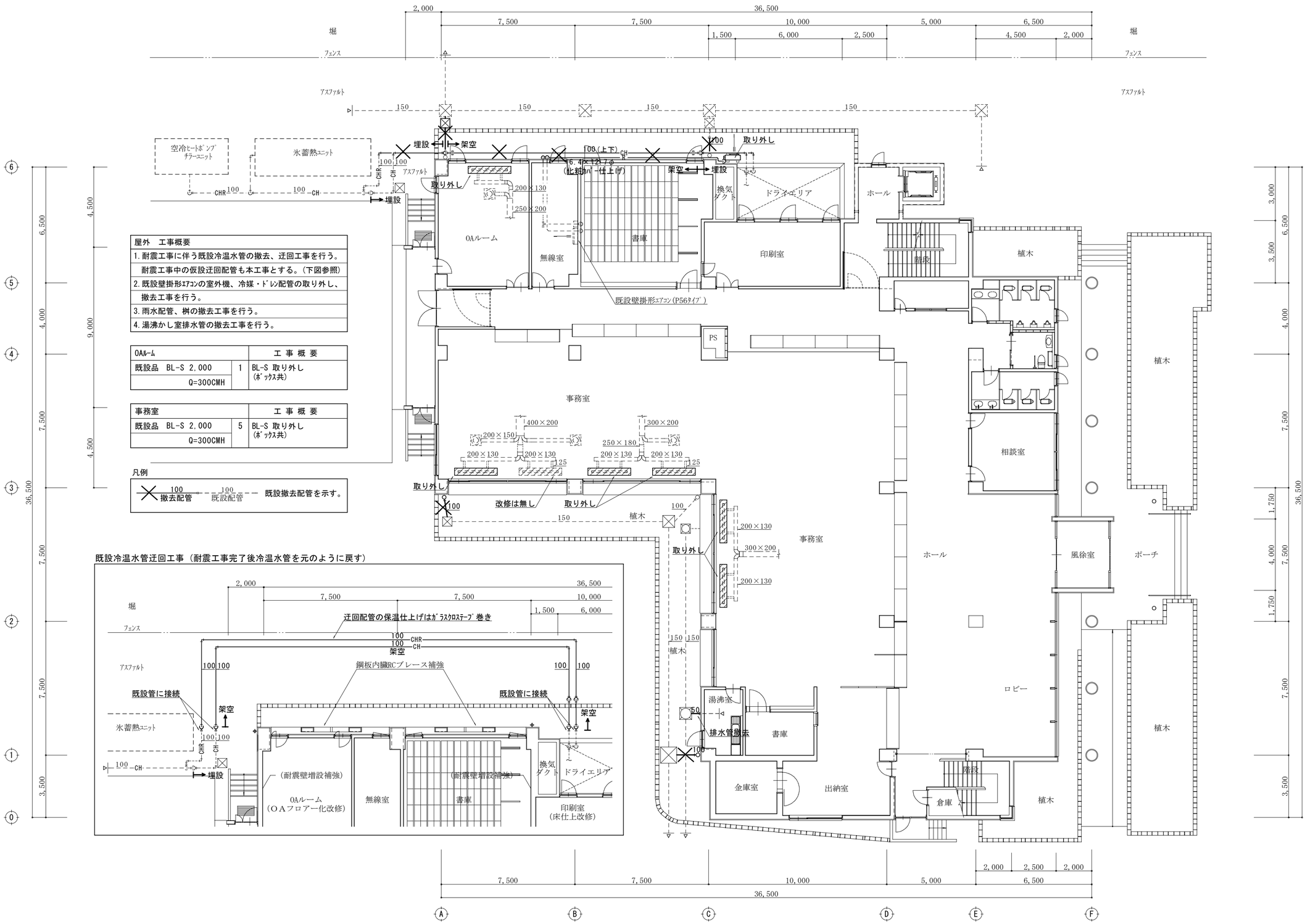
地階　工事概要
1.煙道撤去工事に伴う閉塞工事を行う。

既設機器撤去表

記号	名称	仕様	電源	台数	撤去		備考
					設備	建築	
R	吸収式冷温水発生機	冷房能力100USRt　暖房能力237,500kcal/h 冷水量910L/min	3φ200V 12.5kVA	1	○		基礎はそのままとする
P-2	冷却水循環ﾎﾟﾝﾌﾟ	片吸込渦巻型　100φ×910L/min×25m	3φ200V 7.5kW	1	○		基礎はそのままとする

備考				
		名称	玉城町役場庁舎耐震補強及び改修工事	図面番号
		図名	機械設備工事　地階平面図（改修前、改修後）	1:150	No. M-03

改修前

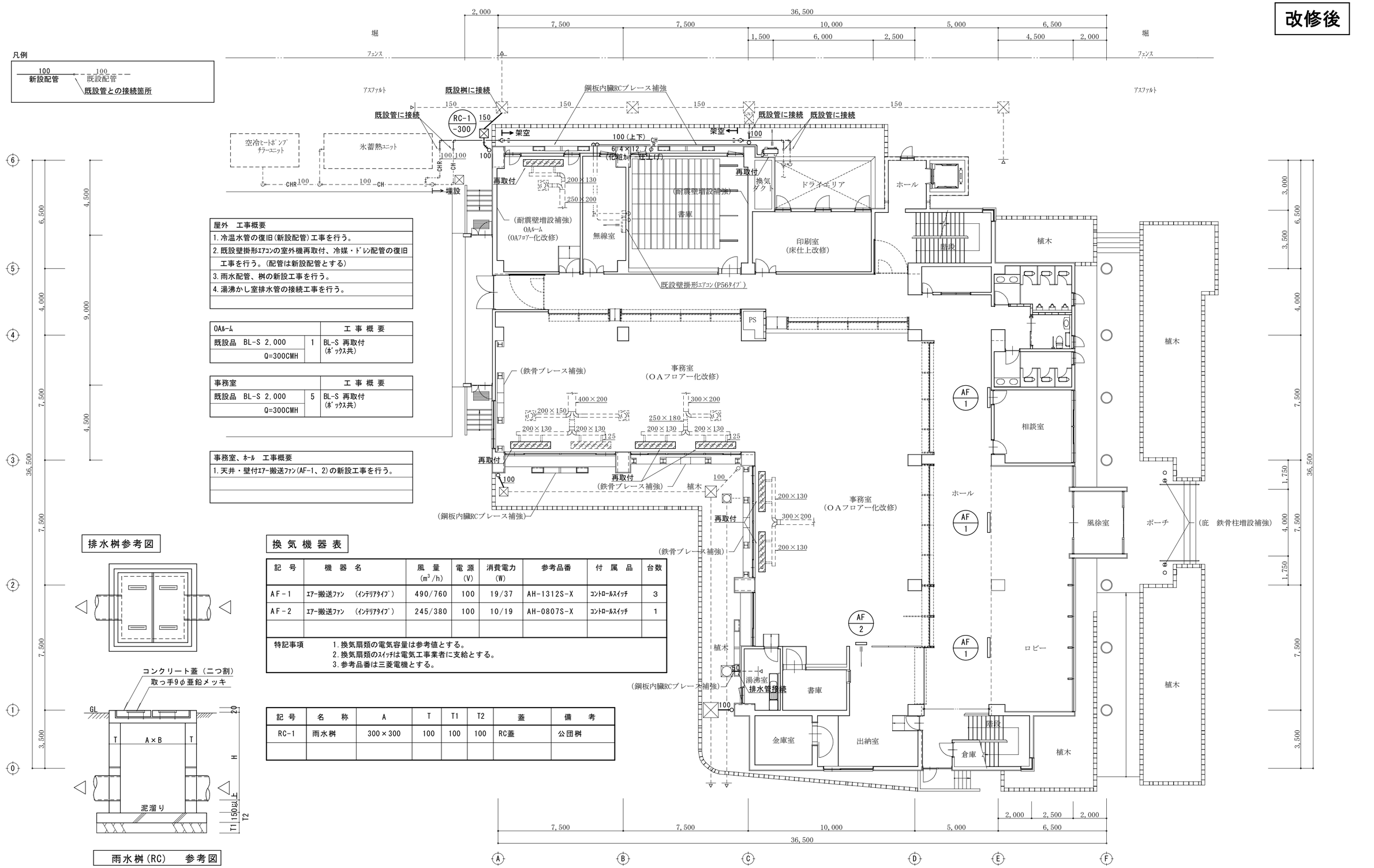


備考		名称	玉城町役場庁舎耐震補強及び改修工事		図面番号
		図名	機械設備工事　1階平面図（改修前）	1:150	No. M-04

改修後

凡例

100 新設配管	100 既設配管
	既設管との接続箇所



屋外　工事概要
1. 冷温水管の復旧(新設配管)工事を行う。
2. 既設壁掛形ｴｱｺﾝの室外機再取付、冷媒・ﾄﾞﾚﾝ配管の復旧工事を行う。(配管は新設配管とする)
3. 雨水配管、桝の新設工事を行う。
4. 湯沸かし室排水管の接続工事を行う。

OAﾙｰﾑ		工事概要
既設品　BL-S 2,000 Q=300CMH	1	BL-S 再取付 (ﾎﾞｯｸｽ共)

事務室		工事概要
既設品　BL-S 2,000 Q=300CMH	5	BL-S 再取付 (ﾎﾞｯｸｽ共)

事務室、ﾎｰﾙ　工事概要
1. 天井・壁付ｴｱｰ搬送ﾌｧﾝ(AF-1、2)の新設工事を行う。

排水桝参考図

雨水桝(RC)　参考図

換気機器表

記号	機器名	風量 (m^3/h)	電源 (V)	消費電力 (W)	参考品番	付属品	台数
AF-1	ｴｱｰ搬送ﾌｧﾝ (ｲﾝﾃﾘｱﾀｲﾌﾟ)	490/760	100	19/37	AH-1312S-X	ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ	3
AF-2	ｴｱｰ搬送ﾌｧﾝ (ｲﾝﾃﾘｱﾀｲﾌﾟ)	245/380	100	10/19	AH-0807S-X	ｺﾝﾄﾛｰﾙｽｲｯﾁ	1

特記事項
1. 換気扇類の電気容量は参考値とする。
2. 換気扇類のｽｲｯﾁは電気工事業者に支給とする。
3. 参考品番は三菱電機とする。

記号	名称	A	T	T1	T2	蓋	備考
RC-1	雨水桝	300×300	100	100	100	RC蓋	公団桝

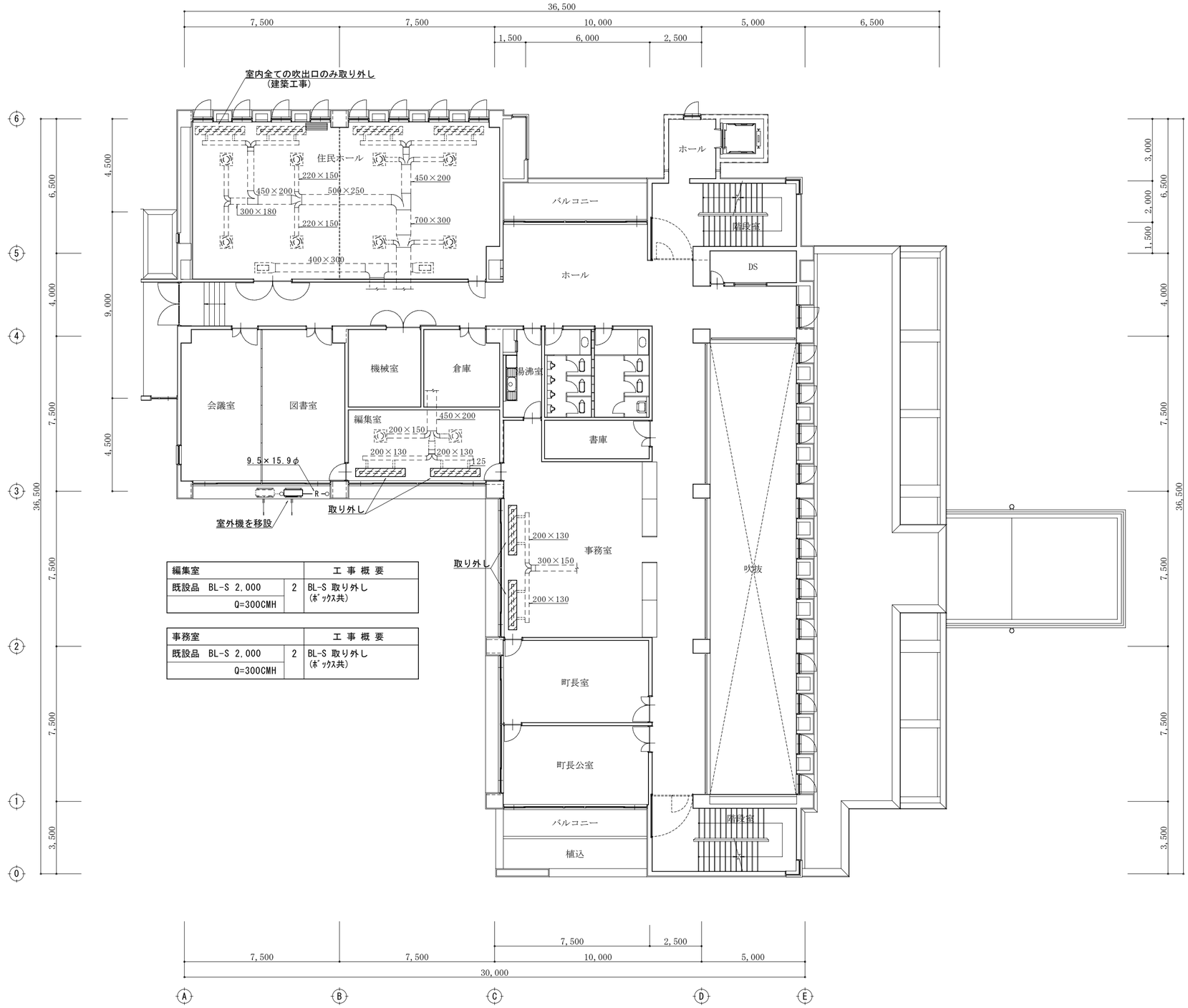
備考		名称	玉城町役場庁舎耐震補強及び改修工事		図面番号
		図名	機械設備工事　1階平面図（改修後）	1:150	No. M-05

改修前

住民ﾎｰﾙ		工 事 概 要
既設品　ｱﾈﾓ　C-2　＃20 Q=405CMH	8	C-2　取り外し （建築工事）
既設品　BL-S 2,000 Q=300CMH	4	BL-S 取り外し （建築工事）
既設品　RGS 550×250 Q=4,440CMH	2	RGS 取り外し （建築工事）

注記事項：ｱｽﾍﾞｽﾄを含む天井材を撤去するので、吹出口類は建築工事で取り外しを行う。

図書室屋外　工事概要
1.耐震工事に伴う既設室外機の移設工事を行う。



編集室		工 事 概 要
既設品　BL-S 2,000 Q=300CMH	2	BL-S 取り外し （ﾎﾞｯｸｽ共）

事務室		工 事 概 要
既設品　BL-S 2,000 Q=300CMH	2	BL-S 取り外し （ﾎﾞｯｸｽ共）

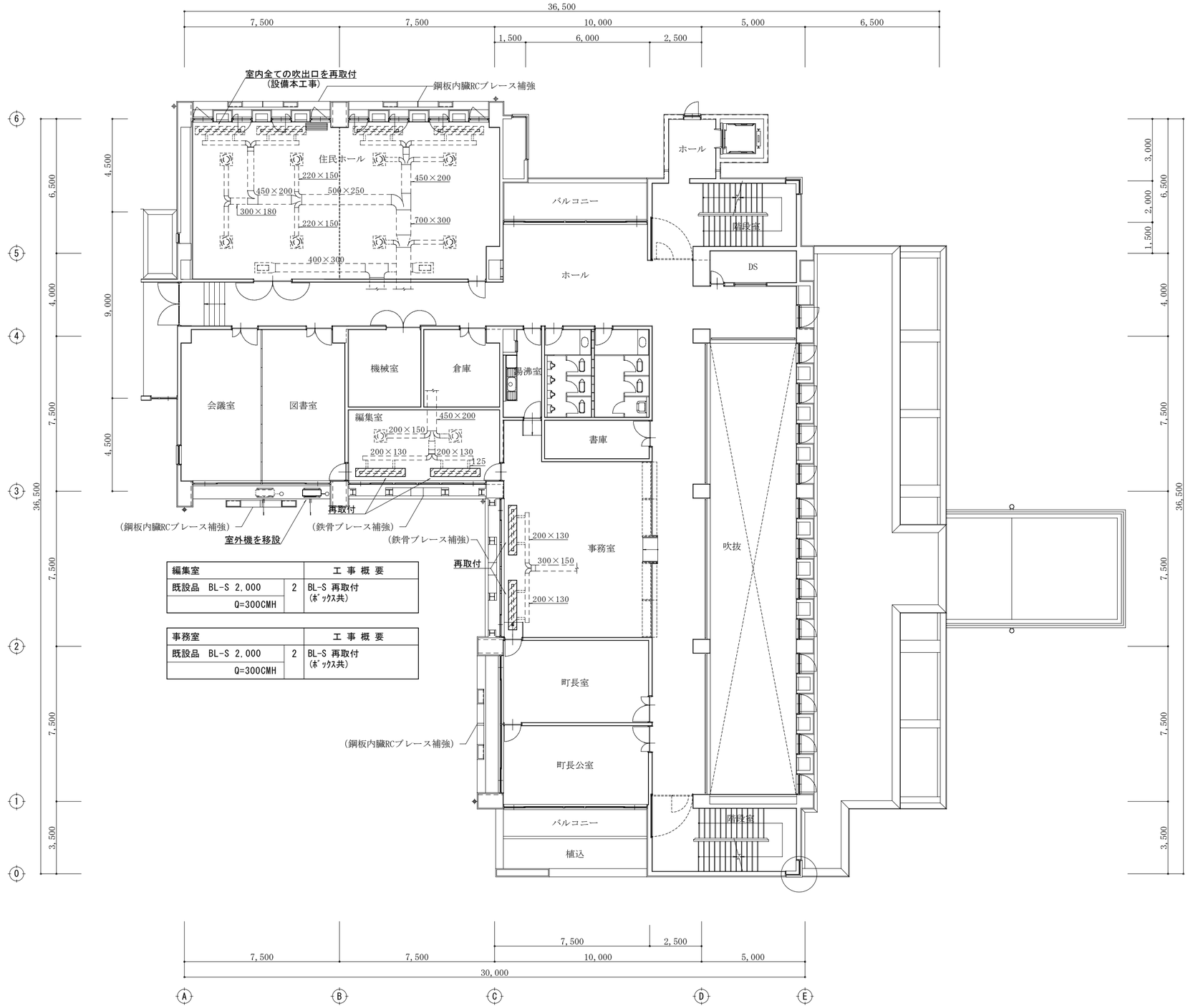
備考		名称	玉城町役場庁舎耐震補強及び改修工事		図面番号
		図名	機械設備工事　2階平面図（改修前）	1:150	No. M-06

改修後

住民ﾎｰﾙ		工 事 概 要
既設品　ｱﾈﾓ　C-2　＃20 Q=405CMH	8	C-2　再取付 （設備工事）
既設品　BL-S 2,000 Q=300CMH	4	BL-S 再取付 （設備工事）
既設品　RGS 550×250 Q=4,440CMH	2	RGS 再取付 （設備工事）

注記事項：吹出口類の再取付は設備工事とする。

図書室屋外　工事概要
1.耐震工事に伴う既設室外機の移設工事を行う。

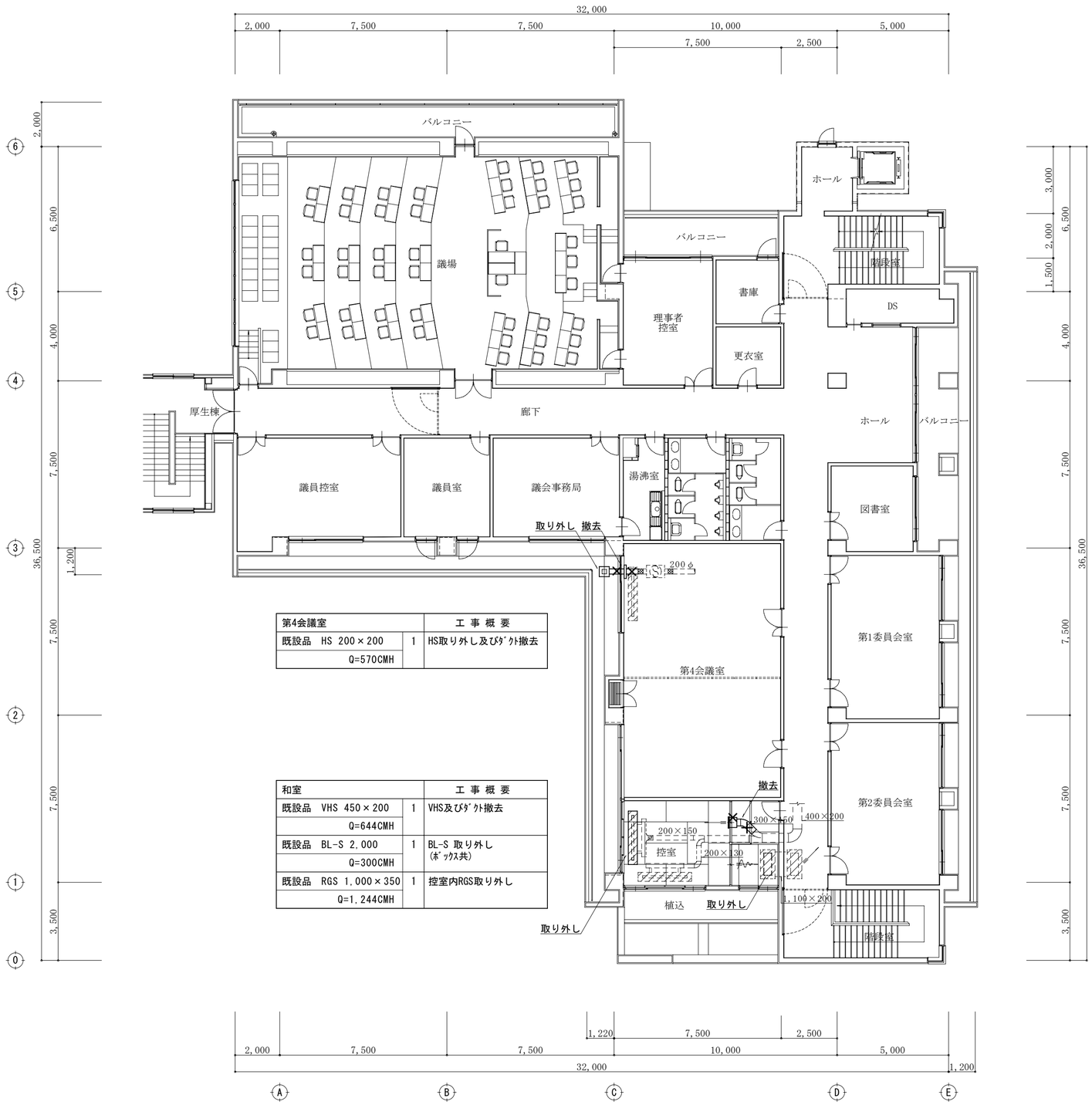


編集室		工 事 概 要
既設品　BL-S 2,000 Q=300CMH	2	BL-S 再取付 （ﾎﾞｯｸｽ共）

事務室		工 事 概 要
既設品　BL-S 2,000 Q=300CMH	2	BL-S 再取付 （ﾎﾞｯｸｽ共）

備考		名称	玉城町役場庁舎耐震補強及び改修工事		図面番号
		図名	機械設備工事　2階平面図（改修後）	1:150	No. M-07

改修前

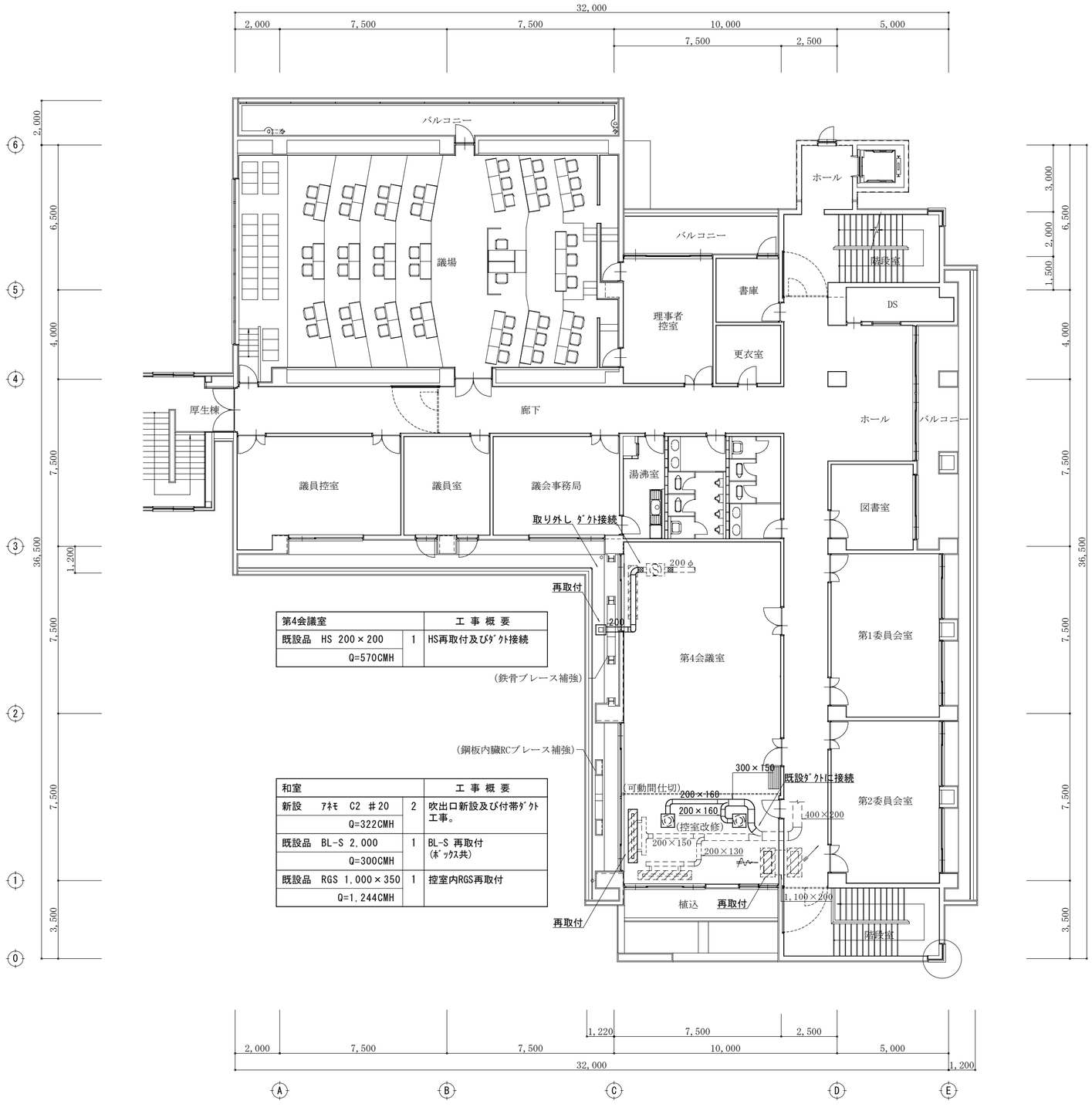


第4会議室		工 事 概 要
既設品　HS 200×200	1	HS取り外し及びﾀﾞｸﾄ撤去
Q=570CMH		

和室		工 事 概 要
既設品　VHS 450×200	1	VHS及びﾀﾞｸﾄ撤去
Q=644CMH		
既設品　BL-S 2,000	1	BL-S 取り外し（ﾎﾞｯｸｽ共）
Q=300CMH		
既設品　RGS 1,000×350	1	控室内RGS取り外し
Q=1,244CMH		

備考		名称	玉城町役場庁舎耐震補強及び改修工事		図面番号
		図名	機械設備工事　3階平面図（改修前）	1:150	No. M-08

改修後

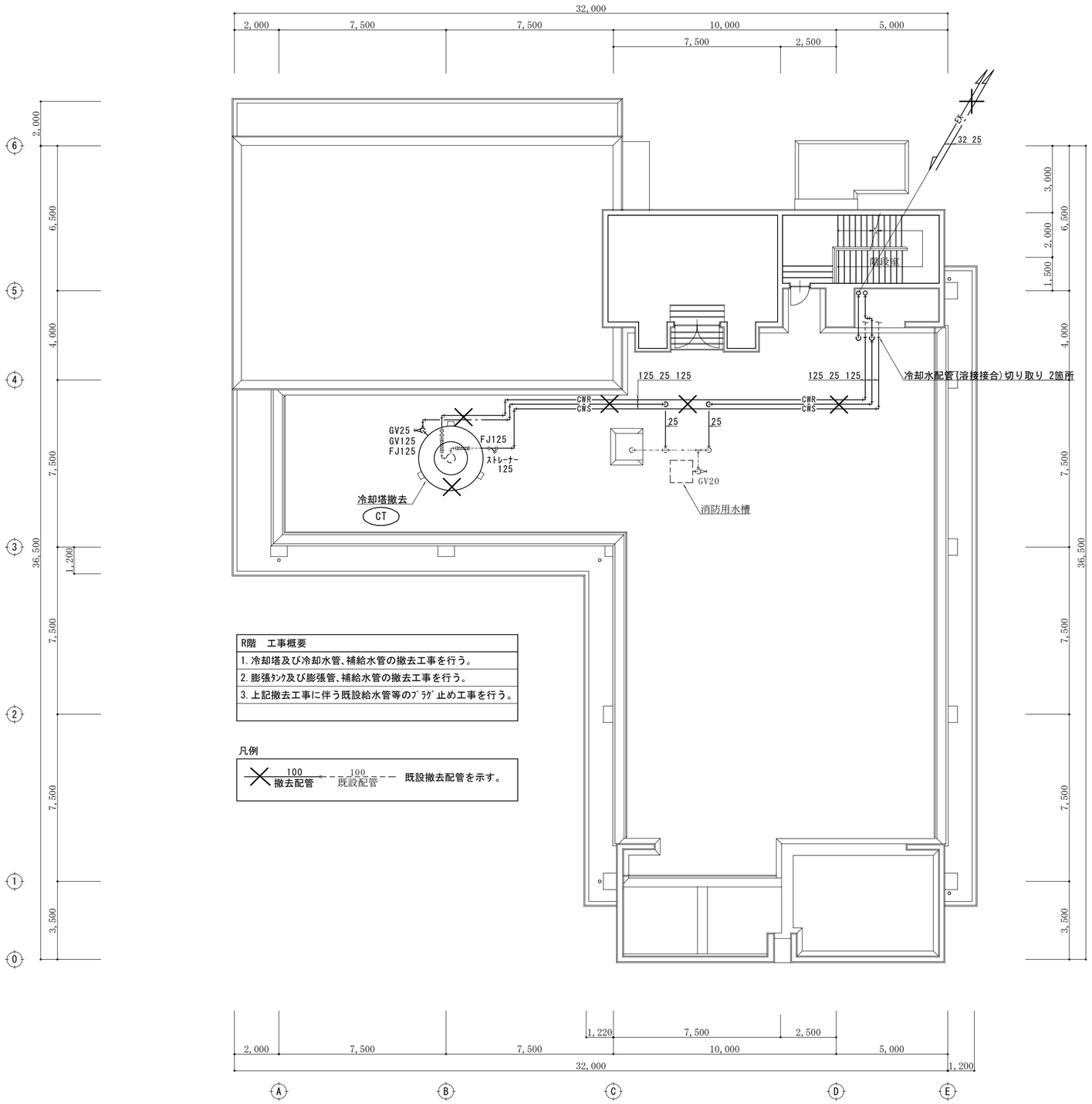


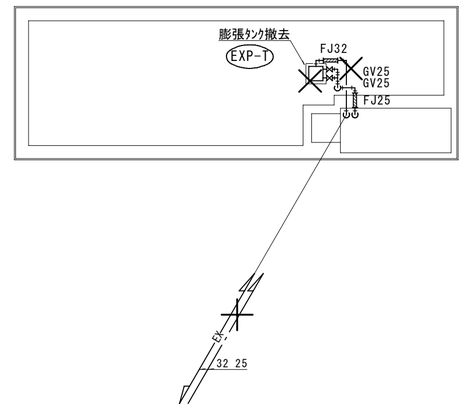
第4会議室		工 事 概 要
既設品　HS 200×200	1	HS再取付及びﾀﾞｸﾄ接続
Q=570CMH		

和室		工 事 概 要
新設　ｱﾈﾓ　C2　＃20	2	吹出口新設及び付帯ﾀﾞｸﾄ工事。
Q=322CMH		
既設品　BL-S 2,000	1	BL-S 再取付 (ﾎﾞｯｸｽ共)
Q=300CMH		
既設品　RGS 1,000×350	1	控室内RGS再取付
Q=1,244CMH		

備考				
	名称	玉城町役場庁舎耐震補強及び改修工事		図面番号
	図名	機械設備工事　3階平面図（改修後）	1:150	No. M-09

改修前





R階　工事概要
1. 冷却塔及び冷却水管、補給水管の撤去工事を行う。
2. 膨張ﾀﾝｸ及び膨張管、補給水管の撤去工事を行う。
3. 上記撤去工事に伴う既設給水管等のﾌﾞﾗﾌﾞ止め工事を行う。

凡例

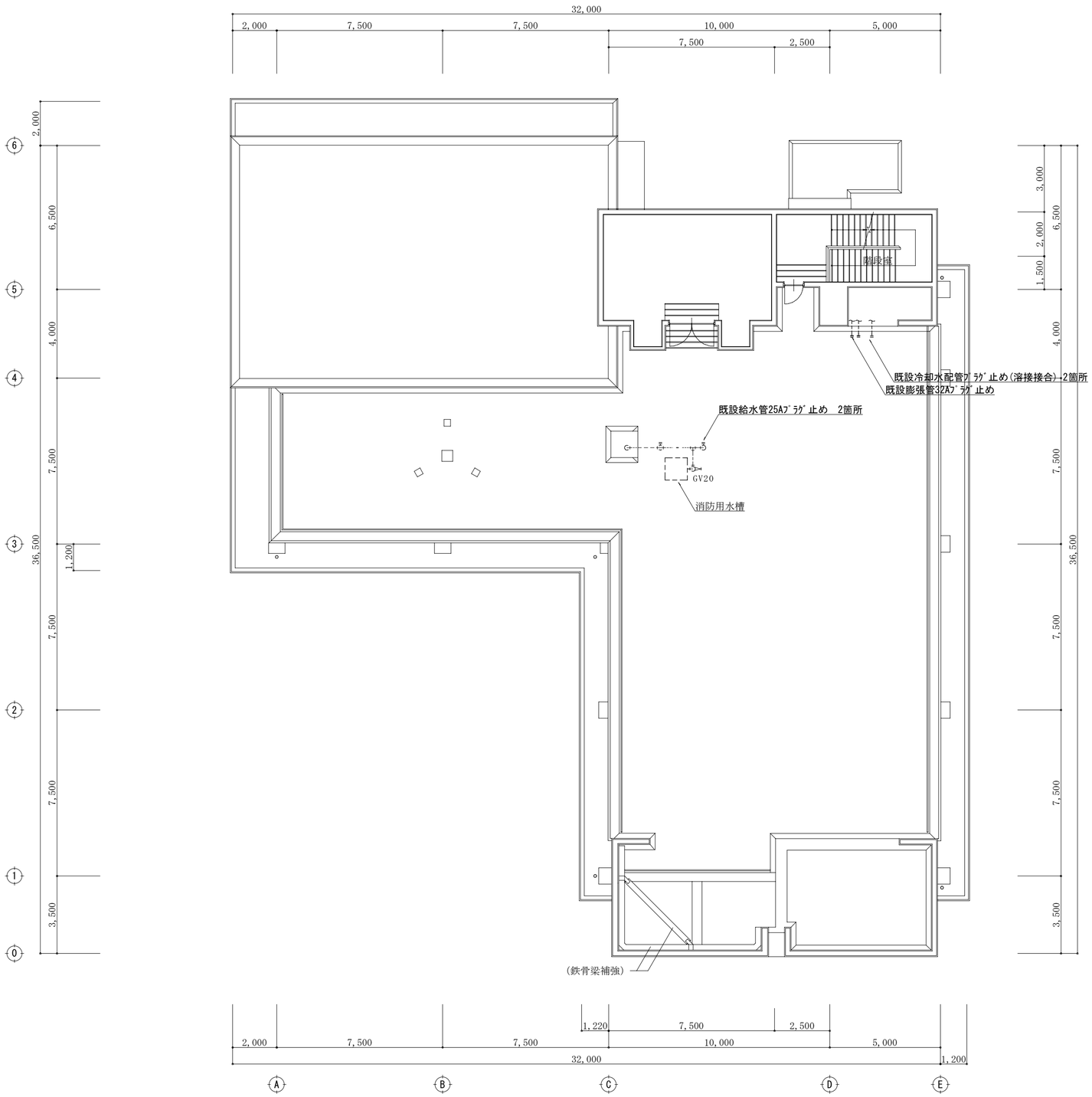
100 撤去配管　100 既設配管　既設撤去配管を示す。

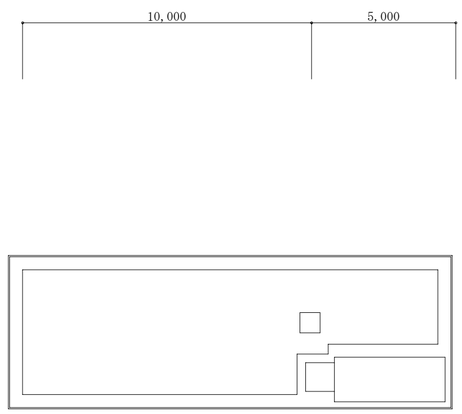
既設機器撤去表

記号	名称	仕様	電源	台数	撤去		備考
					設備	建築	
CT-1	冷却塔	FRP製超低騒音型　冷却能力 536,250kcaL/h 冷却水量 1,530L/min	3φ200V 送風機 3.7kW	1	○		基礎はそのままとする
EXP-T	膨張水槽	SUS製角形　有効容量 100L　500×500×500H		1	○		基礎はそのままとする

備考			
	名称	玉城町役場庁舎耐震補強及び改修工事	図面番号
	図名	機械設備工事　R階平面図（改修前） 1:150	No. M-10

改修後





R階　工事概要
1. 既設機器、配管撤去に伴う既設給水管等のﾌﾗﾝｼﾞ止め工事を行う。

備考				
		名称	玉城町役場庁舎耐震補強及び改修工事	図面番号
		図名	機械設備工事　R階平面図（改修後）	1:150	No. M-11